

平成26年度 富士見町当初予算

～町の将来を創る基礎づくり～

一般会計 64億1,500万円

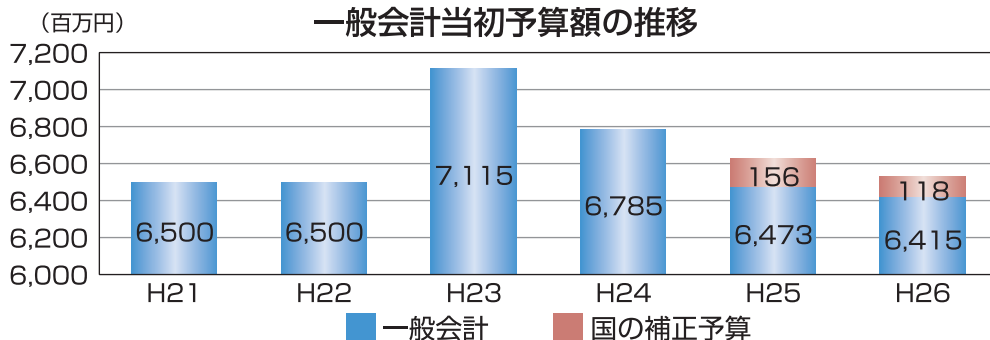
平成26年度は、小林町政2期目のスタートの年となります。一期目において、パノラマスキー場の再生問題や大型福祉施設の建設、安心安全の町づくり等、当面の課題を解決しました。2期目は実践、継続していく年です。町の将来を創る、新たな発展の基礎づくりのため、基金に頼らない予算編成としました。これまでの継続事業は継続し、改革の具体化は本年度策定する第5次総合計画に示します。

今年の予算は、
どうなるか？

下の図は、過去5年間の一般会計予算額の推移です。平成26年度の予算額は、64億1,500万円（前年に比べ5,800万円の減）となり、ここ数年では最も少ない予算規模となります。

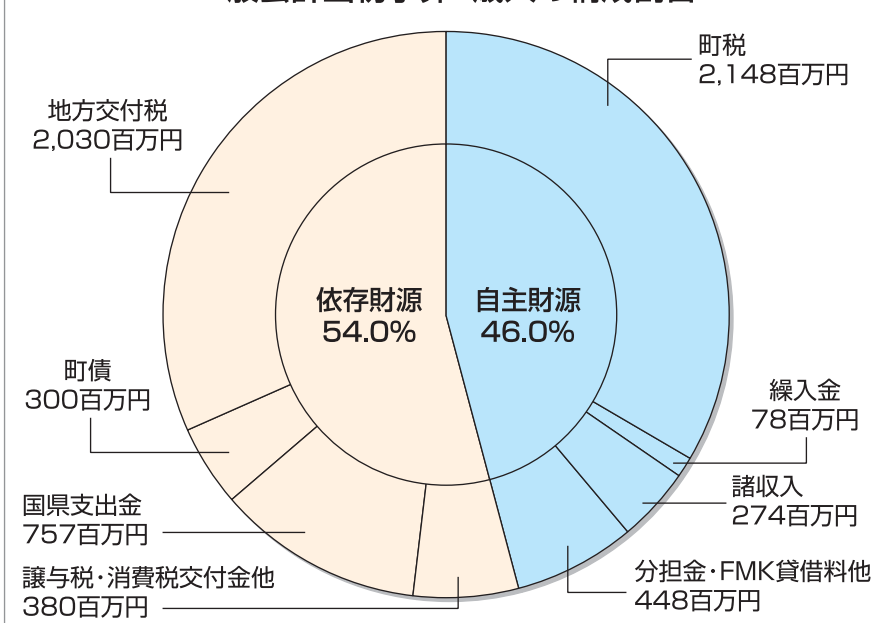
平成26年度の特徴としては、昨年に引き続き平成25年度3月補正予算と一体的な予算編成を行った点にあります。これは、消費増税に伴う国の経済対策によるもので、ずうらの里線道路改良工事や中学校の防災機能強化事業など1億1,800万円を前倒し、平成25年度予算へ取り込んでいます。その結果、前倒し分

一般会計当初予算額の推移



を含む予算総額は65億3,300万円となり、過去5年間で比較しても、決して少ない予算総額ではありません。※平成23・24年度には町内2カ所の福祉施設建設による一時的な経費の増額が影響しています。

一般会計当初予算 歳入の構成割合



※国や県からの補助金などを「依存財源」といい、これに対して町税などの町が自ら収入するものを「自主財源」といいますが、収入全体に占める自主財源の割合が高いほど健全な財政といえます。

町の収入は？

町の収入（歳入）のうち、もっとも大きな割合を占めているのが『町税』です。景気の回復基調を背景に、主要企業の業績回復を見込み、前年に比べ7,700万円増額の21億4,800万円とし、全体の34%を占めています。

そのほかに、消費増税に伴う地方消費税交付金が2,000万円増の1億8,600万円、FMKからの土地賃借料と配当金として、新たに3,700万円を予算化しています。財源が確保できたことにより、財政調整基金を取り崩さないため、繰入金は前年に比べ1億7,500万円減の7,800万円となります。

一般会計当初予算 性質別前年度対比表

(単位：百万円)

区 分	H26	H25	増減
人 件 費	1,182	1,196	△14
物 件 費	1,273	1,259	14
維 持 補 修 費	45	43	2
扶 助 費	543	568	△25
補 助 費 等	1,643	1,548	95
一部事務組合	626	594	32
そ の 他	1,017	954	63
普 通 建 設 事 業 費	378	583	△205
補 助 事 業 費	57	78	△21
単 独 事 業 費	321	505	△184
災 害 復 旧 事 業 費	0	4	△4
公 債 費	603	551	52
積 立 金	30	28	2
貸 付 金	241	241	0
繰 出 金	472	447	25
予 備 費	5	5	0
合 計	6,415	6,473	△58

町の支出、 性質別経費とは？

町の支出（歳出）を性質に着目して分類したもので、「人件費」や「普通建設事業費」などに分けられます。左の表は、性質別経費を前年度と比較したものです。

平成26年度では、普通建設事業費が2億500万円の大幅な減額となりますが、安心・安全の町づくりとして進めてきた庁舎外壁補修工事や町民センター改修工事などの大型事業が終了したためです。

増加したもののとして、補助費等があります。消費増税に伴う臨時福祉給付金など国の政策によるものと、有害鳥獣駆除により獲れた鹿などの食肉処理施設補助金が主な要因で、9千500万円の増額となります。

借入金返済のための公債費は、5千200万円の増額となります。これは、土地開発公社解散のために借り入れた三セク債償還により増額した消費増税により物件費などが、全体的に増額傾向となりますが、大型建設事業が終了した事により、予算規模が抑えられています。

平成26年度の主な取り組み

☆農業の復活

- ・農作物を守るための有害鳥獣駆除・・・4千万円
（さる個体群調査、防止策設置補助、電気柵通報システム）
- ・6次産業化補助金(食肉処理施設補助金)
・・・2千400万円
- ・新規就農者支援事業・・・2千700万円

☆福祉の充実、子ども支援の強化

- ・福祉のまちづくり 地域活動支援センター
赤とんぼ運営事業・・・1千900万円
- ・英語教育の充実など
「教育の町推進事業」・・・1千500万円

☆観光の充実

- ・ハヶ岳創造の森周辺の整備・・・1千500万円
- ・特産品販路拡大と
多摩市のアンテナショップ運営・・・500万円
- ・地域の食材を活かしたグルメサミット
・・・200万円

☆町の重点施策

人口減少に歯止め若者の定住対策として「テレワークタウンの構築」と、過疎化防止と地域のバランスよい発展を目指して「ワインバレー構想」を模索していますが、関係機関との調整を要するため、補正での予算計上を予定しています。

平成26年度 特別会計・企業会計予算額

会 計 名	H26予算額	前年比較
国 民 健 康 保 険	16億9,000万円	1億3,200万円
後 期 高 齢 者 医 療	1億7,200万円	2,040万円
観光施設貸付事業	2億7,350万円	△661万円
富 士 見 財 産 区	1,620万円	△30万円

会 計 名	H26予算額	前年比較
本郷・落合・境財産区	3億7,700万円	△2,700万円
乙 事 財 産 区	540万円	△60万円
水 道 事 業	10億4,365万円	2億1,125万円
下 水 道 事 業	17億7,582万円	△5,033万円